

[008] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10288>

出版情報：語文研究. 8, 1959-02-01. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

母音脱落の一解釈 九州大学助手 森山 隆

一、第八回西日本国語国文学会総会並びに研究発表会

(昭和33年11月21日22日、於宮崎大学)

九大関係の発表者は左の通りである。(発表順)

第一日

上代助詞「を」について 宮崎大淀高校 秋田 義昭

野坡の俳論―俳神の説について― 鹿兒島大学 大内 初夫

草仮名による字音表記 九州大学助教授 春日 和男

―東大寺切の場合― 九州大学助教授 森山 隆

上代エ列音考 九州大学助手 森山 隆

第二日

徒然草の奥行即ち兼行の為人 九州大学教授 穴山 孝道

(公開講演) 九州大学教授 中村 幸彦

日本文学の喜劇性 九州大学教授 中村 幸彦

異動消息

○ 中村幸彦先生は昭和三十三年四月一日付を以て、前任の天理大学から本学教授(国語学・国文学第二講座)として御来任になりました。

○ すでに御承知のように笹淵友一氏は昨年浪漫主義文学の研究で学位を得られました。

執筆者紹介

横山 正 大阪学芸大学助教授

鶴 久 熊本女子大学講師

森山 隆 本学助手

春日 政治 本学名誉教授
学士院会員

重松 泰雄 本学助教授

大内 初夫 鹿兒島大学助教授